

気象庁では、気温や降水量などのほかに、季節の遅れ進みや気候の違いなど総合的な気象状況の推移を知るため、桜の開花や初雪などの季節現象の観測も行っています。

稚内地方気象台で観測するこれら現象の平年値（1981～2010年の30年間の平均値。《 》内に記載）から春の訪れを見てみましょう。

根雪（長期積雪）は4月上旬《4月4日》に終わり、およそ4か月ぶりに地面が顔を出します。その後、4月下旬《4月21日》にかけて一時的に積雪状態になることはあっても、5月上旬《5月2日》に雪は降らなくなり、半年にわたる雪の季節は終わりを告げます。4月下旬《4月25日》には屋外の氷も解け、霜は5月上旬《5月4日》には降らなくなります。

4月下旬《4月29日》にはウグイスのさえずりが日本最北端の地に春本番を告げ、その後、5月上旬《5月9日》にタンポポの開花、5月中旬にサクラの開花《5月14日》・満開《5月17日》と華やかさを増していきます。

宗谷地方は日本海、宗谷海峡、オホーツク海に囲まれ、海岸部と内陸部でも季節の移り変わりに違いが見られます。住んでいる地域の状況と気象台の観測値を比較することで、地域の季節の遅れ進みや移り変わりの目安とすることができるとでしょう。

4月は日によって寒い日があったり、昼夜の寒暖差が激しい時期でもあります。毎日の天気予報を参考に体調を崩さないよう気を付けましょう。

お問い合わせ先：稚内地方気象台（月～金曜日） 電話：0162-23-2679

地域おこし協力隊通信

vol.28

地域おこし協力隊の若月です。まだまだ寒い日が続いていますが、体調は崩されていませんか。

2月11日(日)に青柳隊員が「宗谷北線ゆる〜く撮影会」を開催しました。ラッセル車を撮影するイベントなのですが、私もスタッフとして携わりました。このイベントは人気なようで、告知からすぐに定員(15名)に達してしまいました。参加者にお話しを伺うと、明るい時にラッセル車を撮影できるのは北海道でも宗谷本線だけのようで、鉄道愛好家から注目されているようです。



2月18日(日)には名寄市風連で開催されている「ふうれん冬まつり」にお伺いしました。

このイベントでは、子どもたちにトナカイソリの乗車体験をしてもらうために毎年トナカイの貸出を行っているのですが、今年も大人気で多くの子どもたちが列をつくり、トナカイソリの乗車体験を楽しんでいました。私は、イベント会場の一部スペースをお借りして幌延町のPRブースでパンフレットの配布、トナカイ角細工の販売、トナカイと一緒に撮った写真をその場で缶バッジにするサービス等を行っていました。幌延町にいとトナカイは当たり前前の存在に感じてしまいましたが、他の地域の方からすると珍しく魅力的なようで、トナカイの周りはずぐに人だかりができます。この集客力を生かして今後も幌延町をPRしていき、1人でも多くの人に幌延町の魅力を伝えていきたいと思えます。



ふうれん冬まつりの様子。
トナカイソリに長蛇の列ができています。